

NEWS RELEASE

令和 元年 9月 17日

お客様へ

株式会社 栃木銀行
株式会社 日本政策金融公庫
宇都宮支店

栃木市でのミニトマト生産に向けた出資・融資支援 ～女性活躍農業法人を出資・融資で連携支援～

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本 淳之介）及び株式会社日本政策金融公庫（略称：日本公庫）宇都宮支店農林水産事業は、パナプラス株式会社（代表取締役 小竹 花絵）に対し、ミニトマト生産事業本格化に必要な設備資金を協調して出資＜とちぎん農業法人ファンド第5号出資＞及び融資しましたのでお知らせ致します。【出資・融資概要は後掲】

<ポイント>

○女性が活躍する農業法人を支援

当社は年間およそ150種類100万ポットの家庭菜園用苗の生産販売を主業として事業を展開しており、代表者である小竹 花絵氏を筆頭に社員28名中26名の女性が活躍しています。また栃木県「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」、「農業女子プロジェクトのメンバーへの参加」等、農業分野から女性が活躍できる場を積極的に推進しています。

その中で、小竹代表は苗の生産だけでなく、自身が農業参入するきっかけとなった野菜の新鮮な旨み・甘みをもっと多くの人に知って欲しい、「食べて感動するトマト」を消費者に届けたいとの思いから自社で研究を重ねたミニトマト「こくパリッ®」を開発。同商品の本格的な生産にあたり、とちぎん農業法人ファンド及び日本政策金融公庫のスーパーL資金を活用しミニトマト生産施設を整備いたしました。

2019年3月には栃木県知事より「キラリと光るとちぎの企業」の表彰、2019年8月にはJGAPの認証農場となる等、今後の活躍が期待されています。

○農業分野で栃木銀行と日本公庫が連携し出資・融資支援

栃木銀行と日本公庫は計画段階から連携して経営相談に応じるなど、事業の実施にあたりサポートしました。今後の当社の事業計画や地域活性化の観点から評価し、ミニトマト生産に必要な資金として計50百万円を協調支援いたしました。

地域密着型金融の推進を図る栃木銀行の地域ネットワークの広がりや、日本公庫の専門性を活かした支援を行う等、今後もそれぞれの強みを活かして、担い手の育成や経営サポートを積極的に支援してまいります。

NEWS RELEASE

○ 出資・融資の概要

名 称	パナプラス株式会社（代表取締役 小竹 花絵）
資 本 金	10 百万円
所 在 地	栃木県栃木市大久保町 2 3 0
設 立	平成 2 5 年 7 月
事業内容	野菜苗生産・販売、ミニトマト生産・販売
資金使途	ミニトマト生産ハウス及び付帯設備
支援金額	株式会社とちぎんキャピタル 出資 10 百万円 株式会社日本政策金融公庫 融資 40 百万円
当社 HP	https://pana-toma.jp